

東文研セミナー

Minai in Iran: high-level ceramic innovation in the twelfth century

日時：2018年5月21日（月）16:00～18:00

場所：東京大学東洋文化研究所3階大会議室5

Oliver Watson博士

オックスフォード大学
ハリリー中東美術・物質文化研究センター
イスラーム美術・建築名誉教授

オリヴァー・ワトソン博士はイスラーム陶器研究の第一人者です。ロンドンのヴィクトリア&アルバート美術館の主任学芸員を務められたのち、オックスフォード大学アシュモリアン美術館学芸員、ドーハのイスラーム美術館館長、オックスフォード大学イスラーム美術・建築I. M. Pei教授を歴任され、現在同大学名誉教授です。ご著書に *Persian Lustre Ware* (1985), *Ceramics from Islamic Lands: a Catalogue of the al-Sabah Collection, Kuwait* (2004), *Museum of Islamic Art - Guide* (2008)があるほか、イスラーム陶器に関する数多くの論文を発表されています。

今回は、博士が最近特にご関心をお持ちのミーナーイー陶器についてご発表いただきます。ミーナーイー陶器とは、12世紀後半から13世紀前半にかけてイランで作られた多色のエナメル彩陶器で、彩画には絵画的な要素が多々見られる魅力的な器です。どうぞ奮ってご参加ください。

連絡先：梶屋 [masuya\(at\)ioc.u-tokyo.ac.jp](mailto:masuya@ioc.u-tokyo.ac.jp)

画像キャプション：Minai bowl by Abu Zayn al-Kashani, dated A.H. 583/ A.D. 1187
The Metropolitan Museum of Art, New York, 64.178.2

